



SGH SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

地域から考えるグローバルエイジング研究

Understanding global aging from a local perspective

千葉県立松尾高等学校



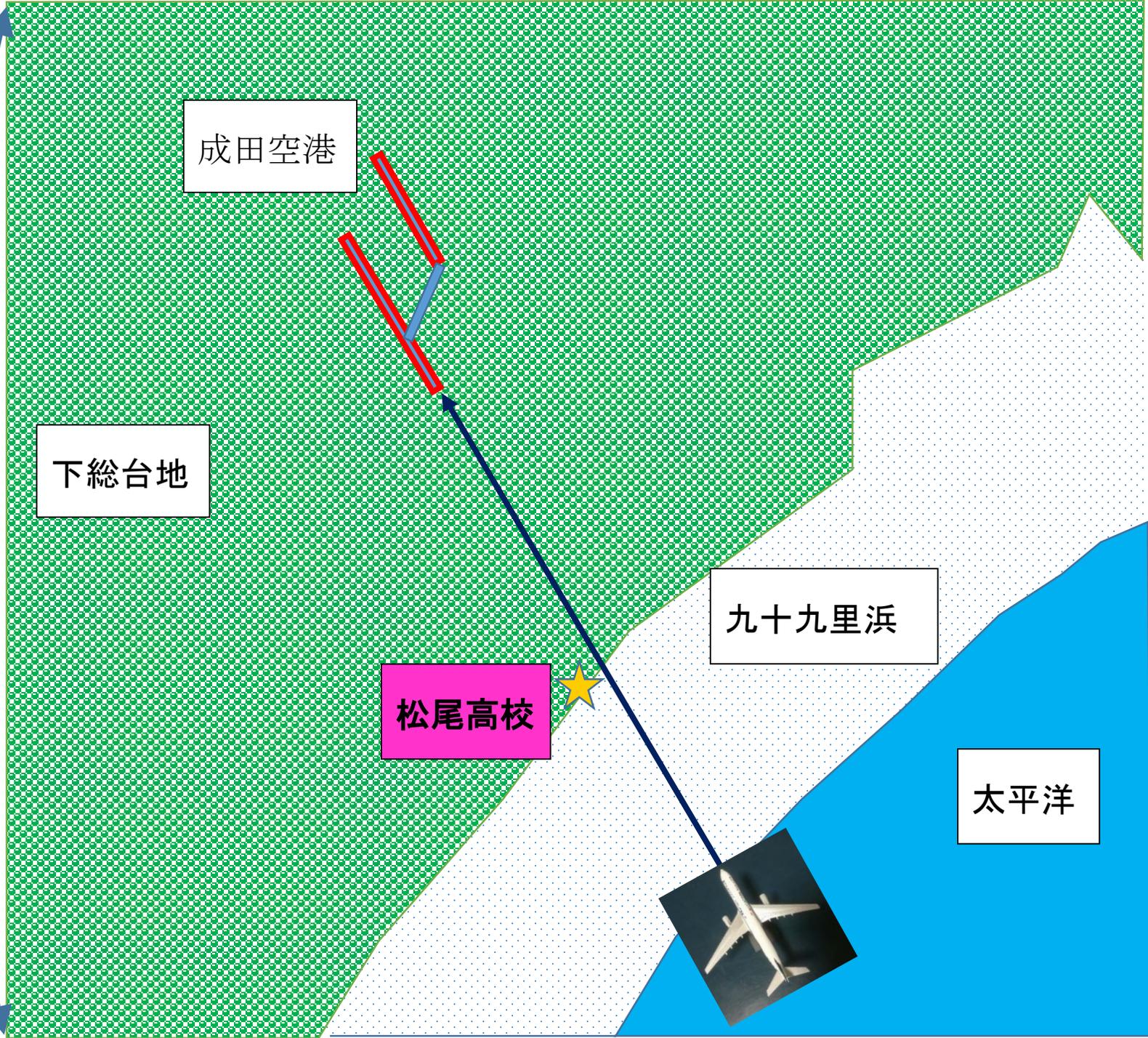
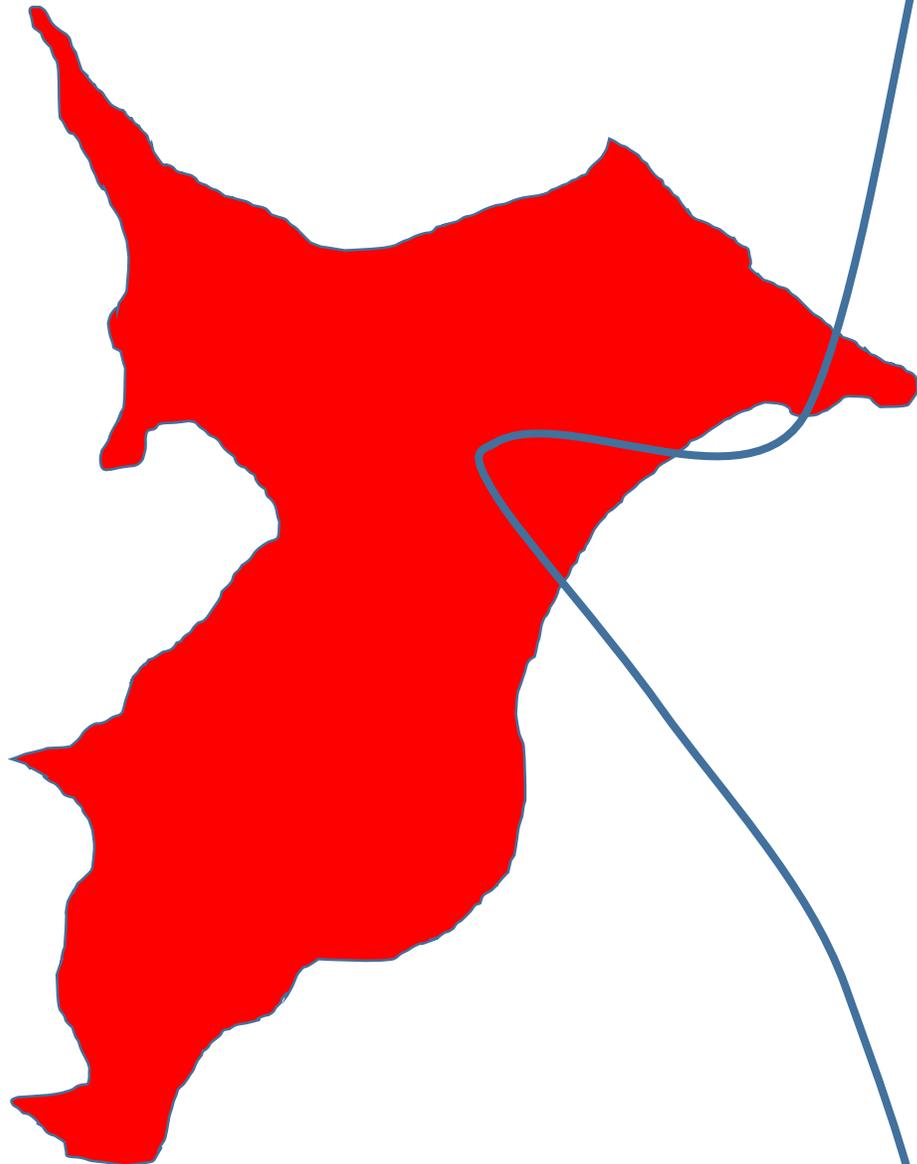
SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

地域から考えるグローバルエイジング研究

MATSUO HIGH SCHOOL

- ▶ 山武地域・・・少子高齢化、外国人労働者の増加等の課題がある。
- ▶ 一方で、日本の空の玄関「成田空港」や世界的規模の企業が隣接
⇒世界と比較して(グローバルな視点で)課題解決を図る
人材の育成

福祉コースを持つ松尾高校で、地域の課題を研究し、
「地域発世界行き」の生徒(グローバル人)を育てる。



全体構想図 その1

テーマ「地域から考えるグローバルエイジング研究」

研究開発の目的

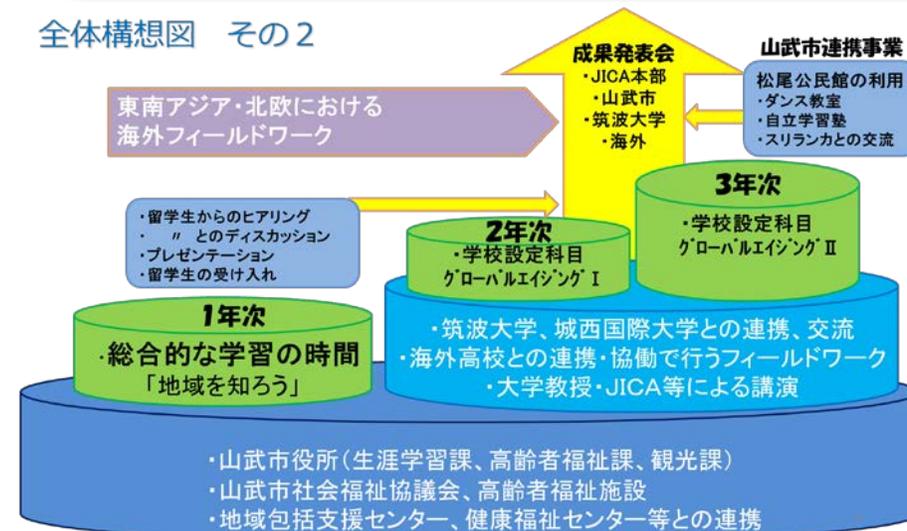
- ①福祉教育をとおして、地域の課題から国際理解と国際協力の視点を蓄積する。
- ②多様な連携によりグローバルな社会課題を認識し、解決するための手立てを見いだす。
- ③プレゼンテーション能力を養成し、グローバルな視点で発信できる。

グローバル人材の育成

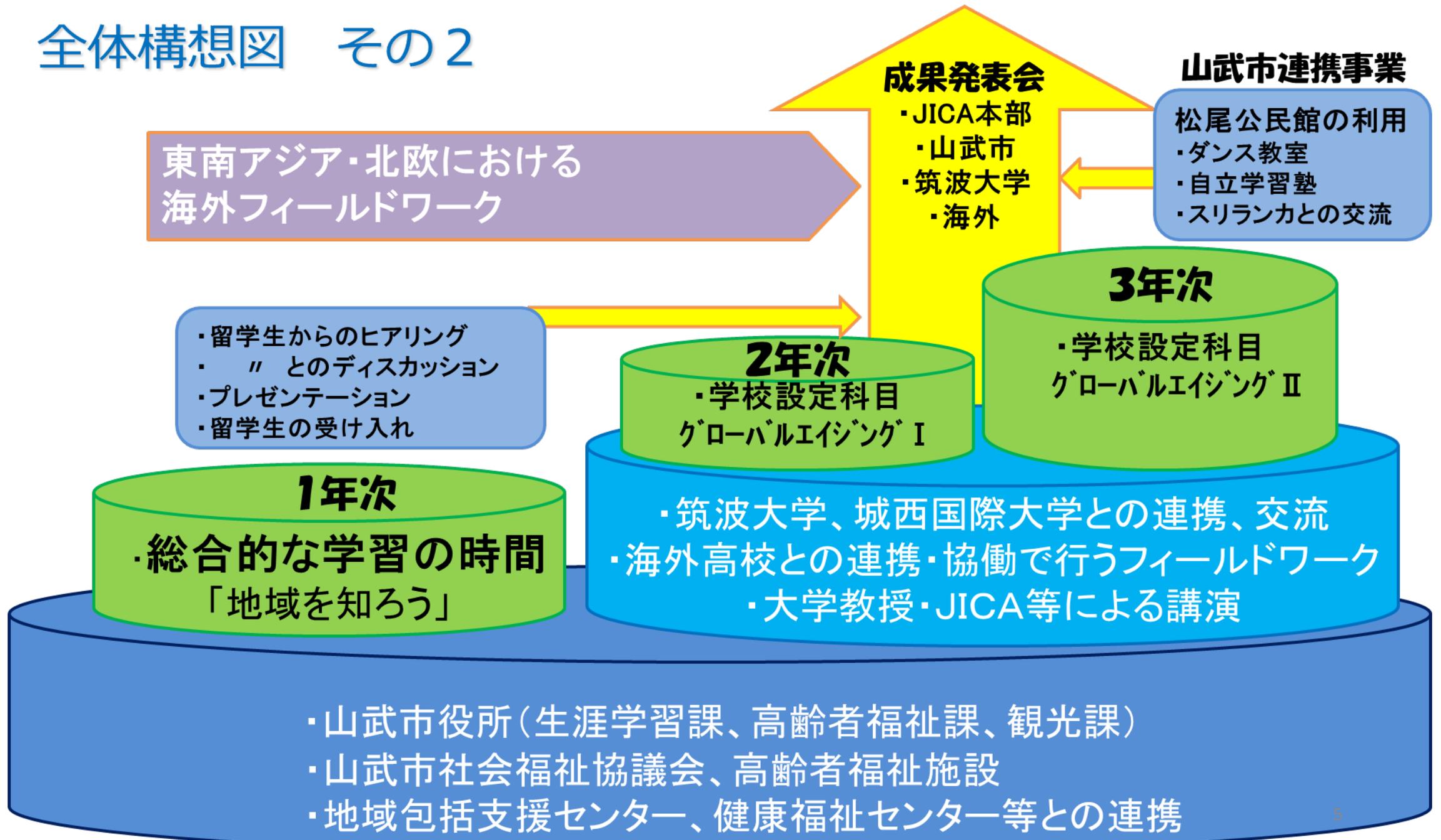
目標とするグローバル人材

- ①日本の魅力を理解し、国際貢献に取り組める生徒の育成
- ②主体的に高齢化問題に取り組む生徒の育成
- ③積極的に海外のことを学ぼうとする生徒の育成
- ④プレゼンテーション能力のある生徒の育成

全体構想図 その2



全体構想図 その2



研究開発

1年次

総合的な学習の時間

「地域を知ろう」

1年生全員が地域フィールドワークを実施



地域で働いている方々と一緒に仕事をして、
その地域が抱えた課題を発見する



地域を学びつつ、コミュニケーション力増強を図る

2・3年次

学校設定教科「生涯学習」

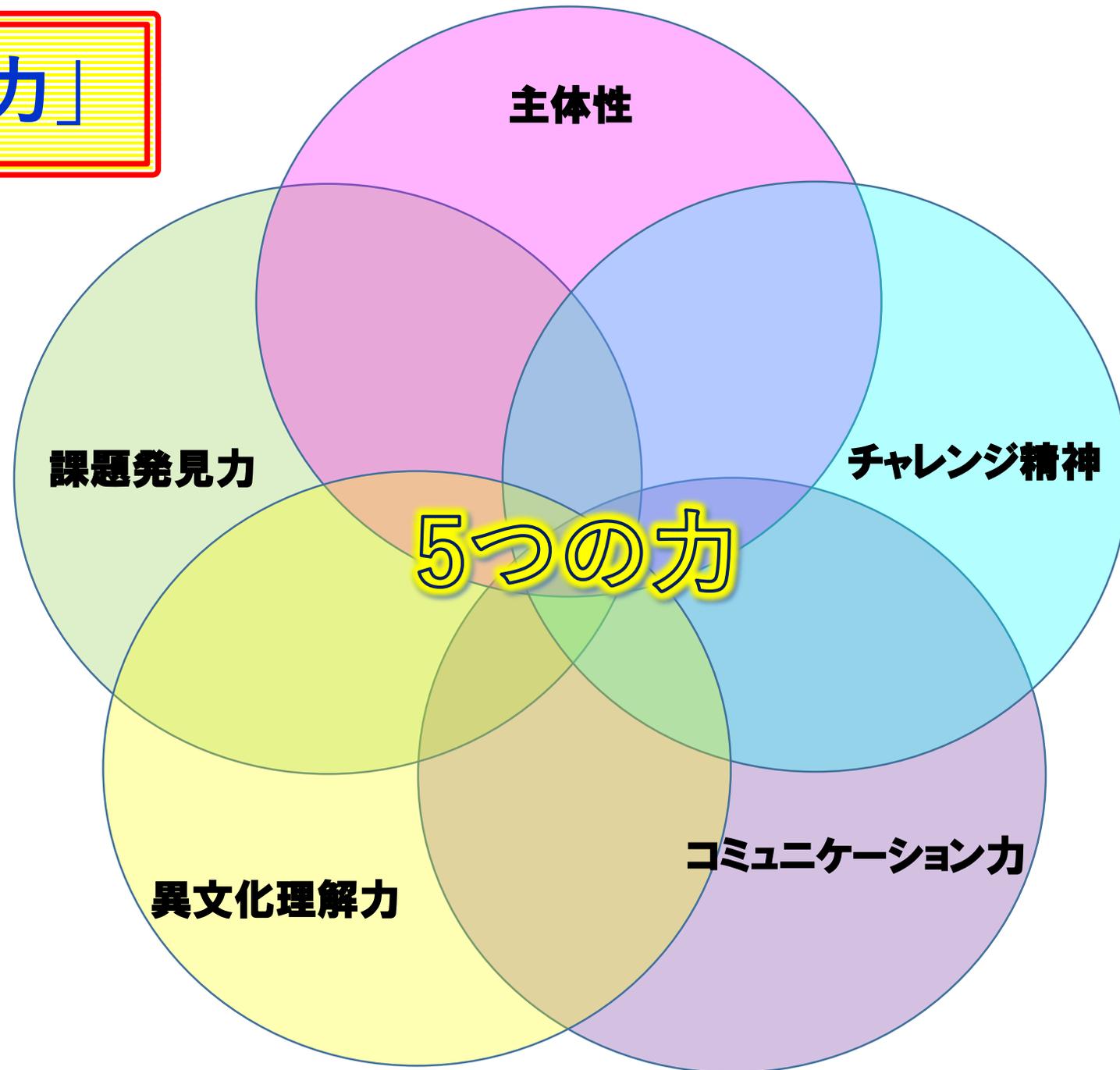
学校設定科目「グローバルエイジング I・II」

(各2単位)

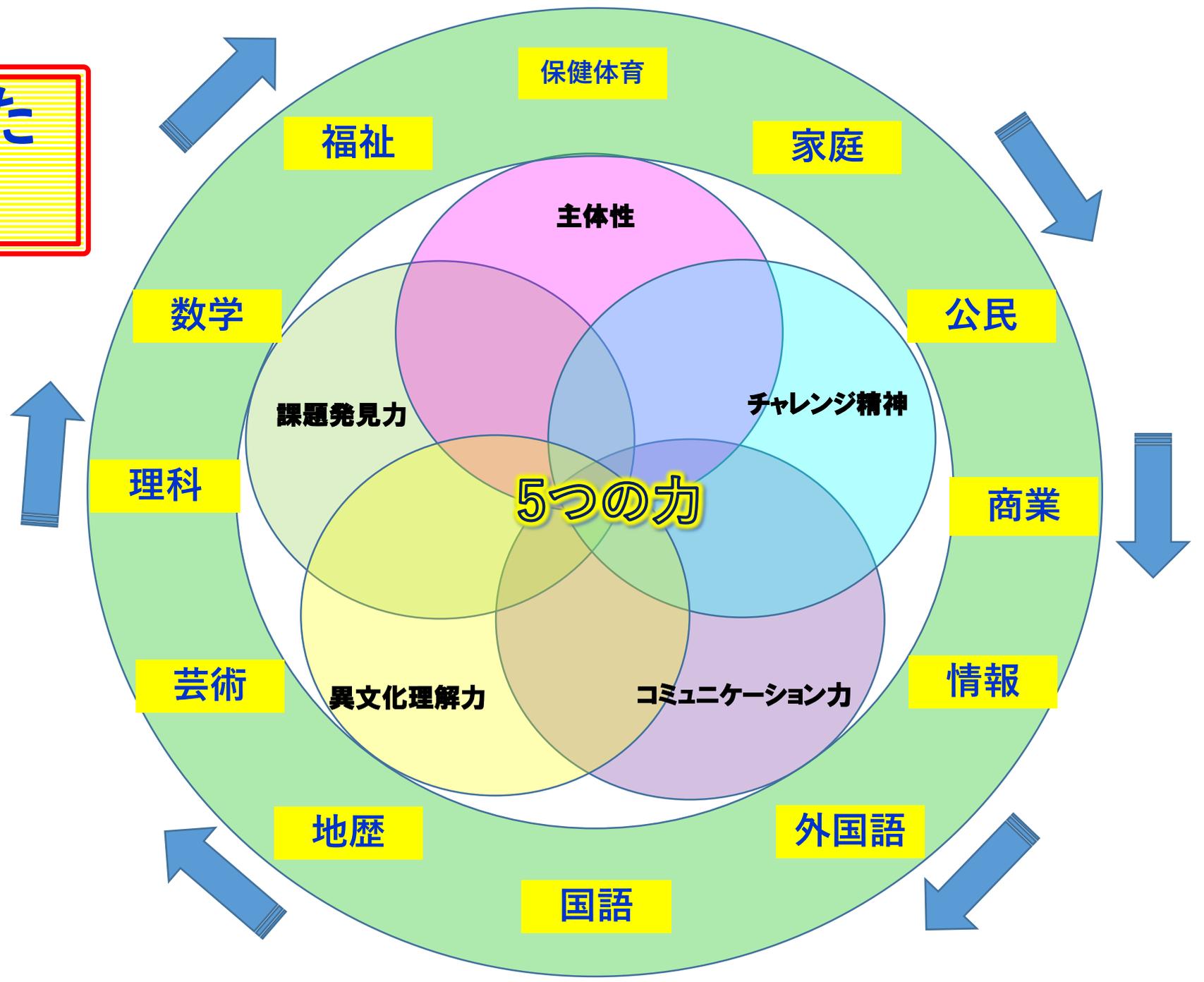
グローバル化の意義と課題についてアクティブに学ぶ。
地球規模で進んで行く高齢化の意義と課題、特に高齢者福祉について、地域や海外のフィールドワークなど、体験的な学習を通して**高校生の視点から問題解決の方法**を研究し、提言する。

松尾高校の生徒に育みたい**5つの力**を設定し、資質能力の向上を図る教育活動を充実させる**カリキュラム・マネジメント**に努める。

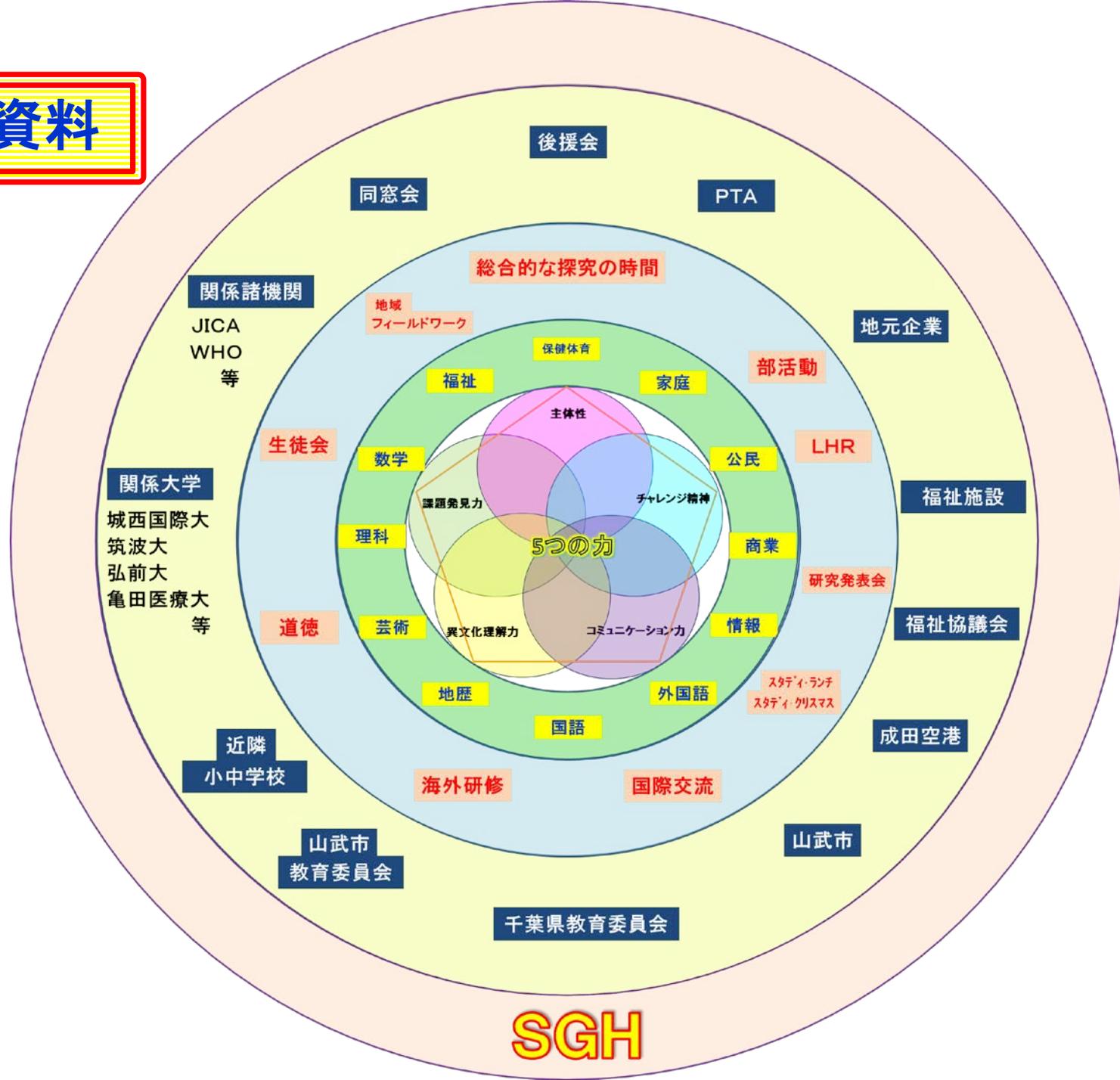
「5つの力」



**教科の壁を超えた
指導**



カリキュラム・マネジメント資料



2年次 グローバルエイジング I

2年生希望者(生徒の15-25%)が受講

1年時に自分たちが
見つけた課題を、
どうすれば解決で
きるか、どうしたら
伝わるか研究

* 担当職員

T.T. { 公民科教諭
福祉科教諭
英語科教諭
ALT



高齢化をテーマに、情報の受発信能力を高める

3年次 グローバルエイジングⅡ



具体的提案を地域等に日本語・英語で発信する

海外フィールドワーク タイ王国

- ・タイの福祉現場体験
- ・現地JICA訪問
- ・地域の高校との交流



アジア地域の福祉の思想と現状を体験する

スウェーデン研修視察

- ・スウェーデンの福祉思想を知る
- ・先進的老人ホーム体験
- ・バリアフリーの現状学習



SQC訪問



福祉先進国の福祉の思想と現状を体験する

山武市との連携

- ・1年生全員が地域体験
- ・山武市の出前講座
- ・市主催の文化交流イベント



山武まちづくり講座



山武市の全面協力で地域参画の機会を得る

スタディ・クリスマス

冬休み1日



スタディ・ランチ

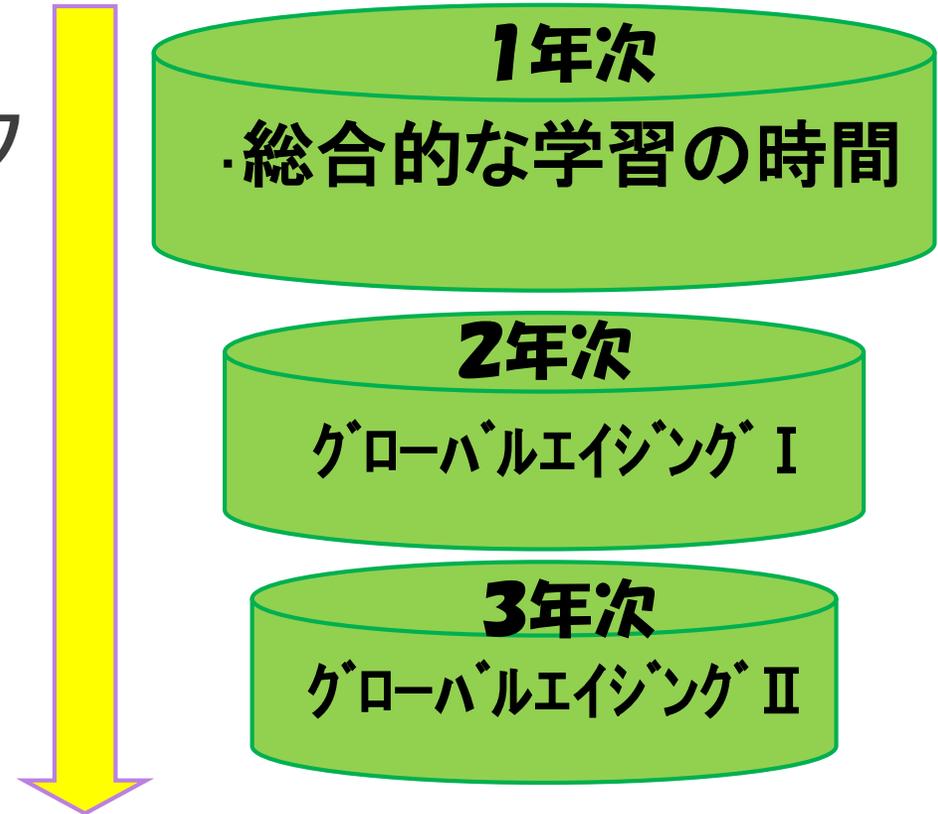
夏休み2日(通学合宿)



活動例

地域の課題を自分で発見し、解決策を自分の頭で考え、その策を提案する。

- ▶ 地域フィールドワーク
- ▶ アクションプラン
- ▶ プレゼンテーション
(日本語と英語)



アイディアが実現する

II

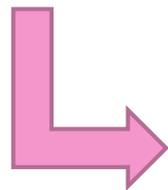
自己肯定感と達成感の獲得



蓮沼海浜公園の壁画作成



棒サッカーをより安全で誰でもできるように
独自に改善し、山武市幹部に提案



山武市のイベントで実現



立教大学 関東甲信越静発表大会



國際交流



中国修学旅行团



高大接続

・筑波大学



・弘前大学



佐藤和之ゼミで、「やさしい日本語」について学ぶ

田宮菜奈子ゼミからグローバルエイジングを学び、学会でも医学部生に混ぜって発表

成果と課題

成果課題の測定ツール

(1) ポートフォリオ

3年間を通して、SGH活動をポートフォリオ化している。

グローバルエイジング選択者は卒業前にポートフォリオを整理して自己評価させる。

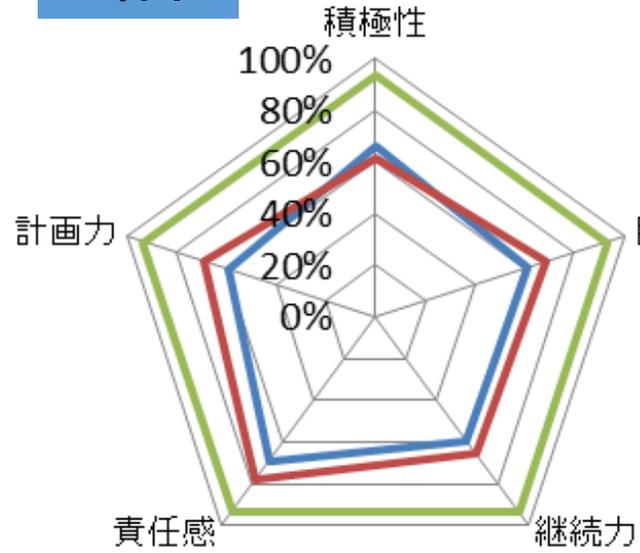
(2) ルーブリック評価

全生徒が年度初と年度末にルーブリック評価を行い、自己の「変容」を自覚する。

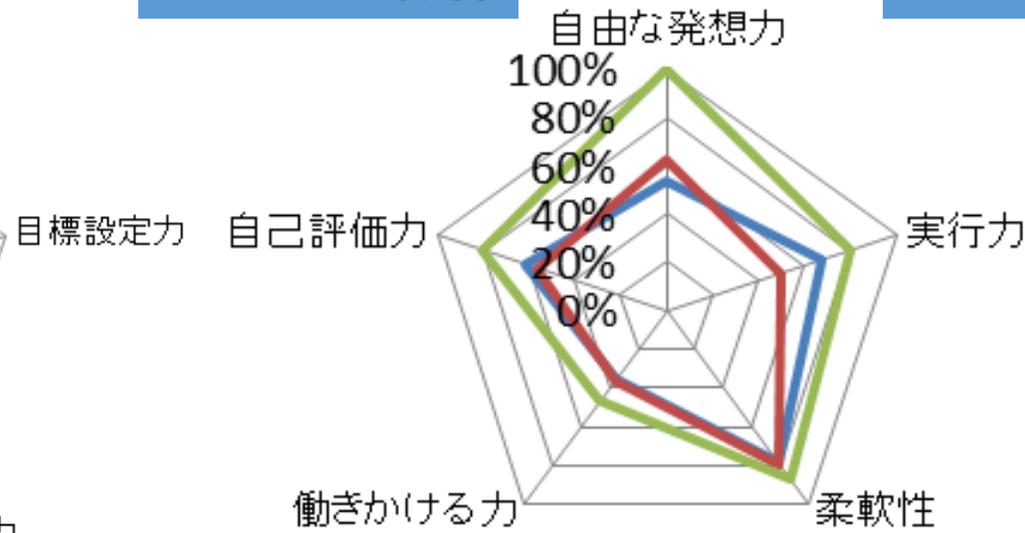
(3) その他

イベントへの参加状況や、終了後の感想

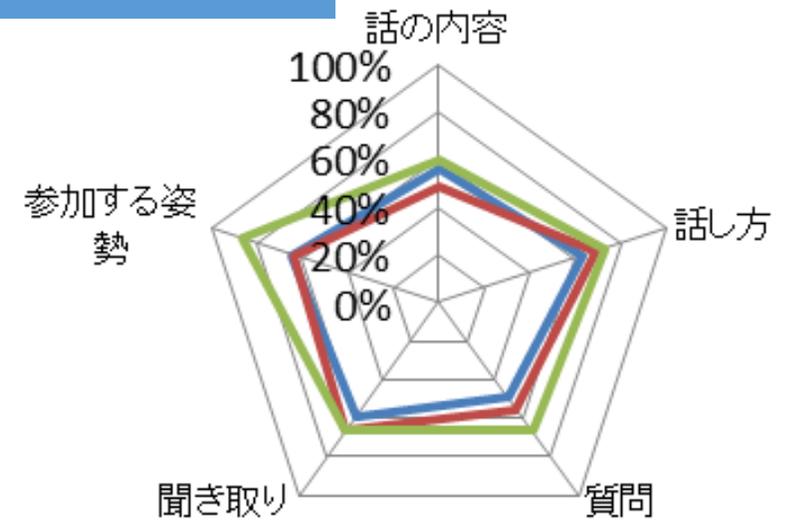
主体性



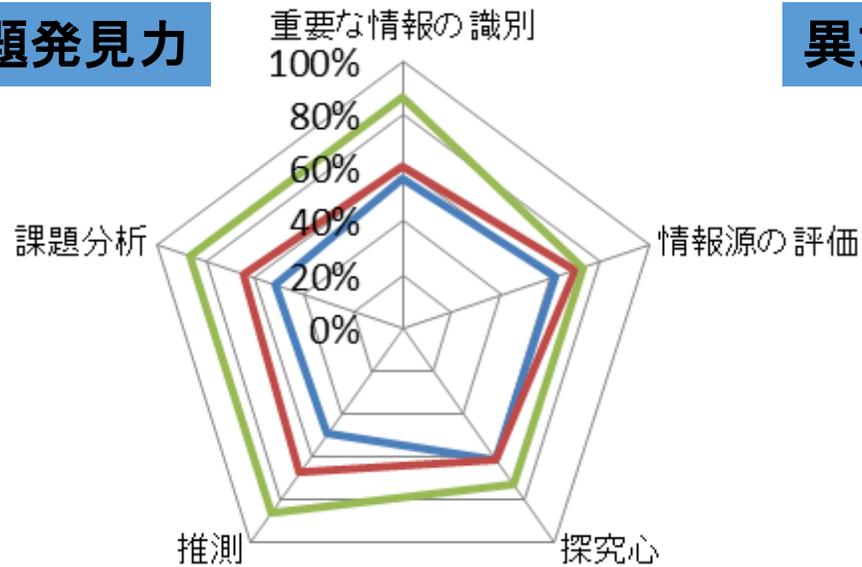
チャレンジ精神



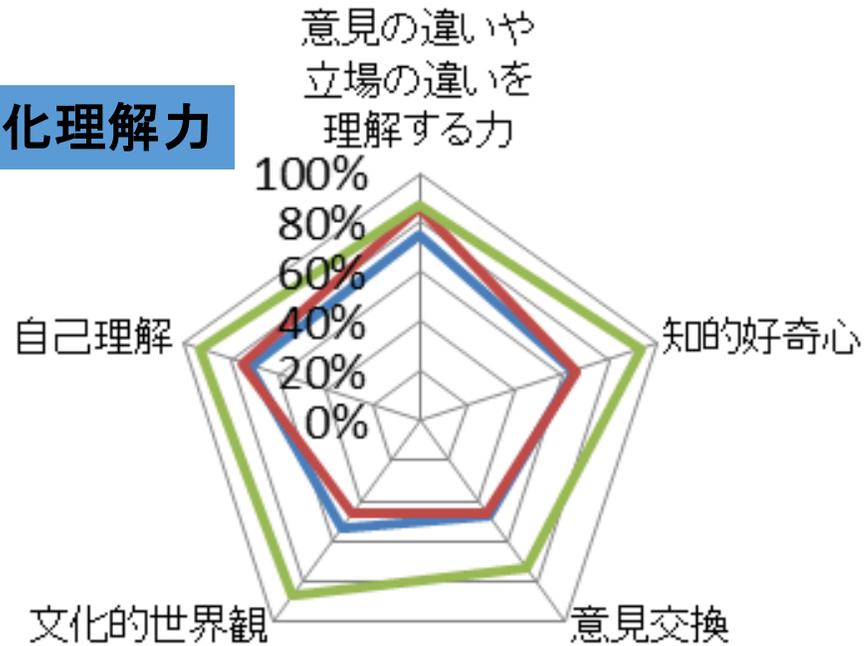
コミュニケーション力



課題発見力



異文化理解力



- ▶ 地域に具体的提言をすることができた。
- ▶ アクションプランが市政に反映された。
- ▶ 海外の方とディスカッションができた。

→成果

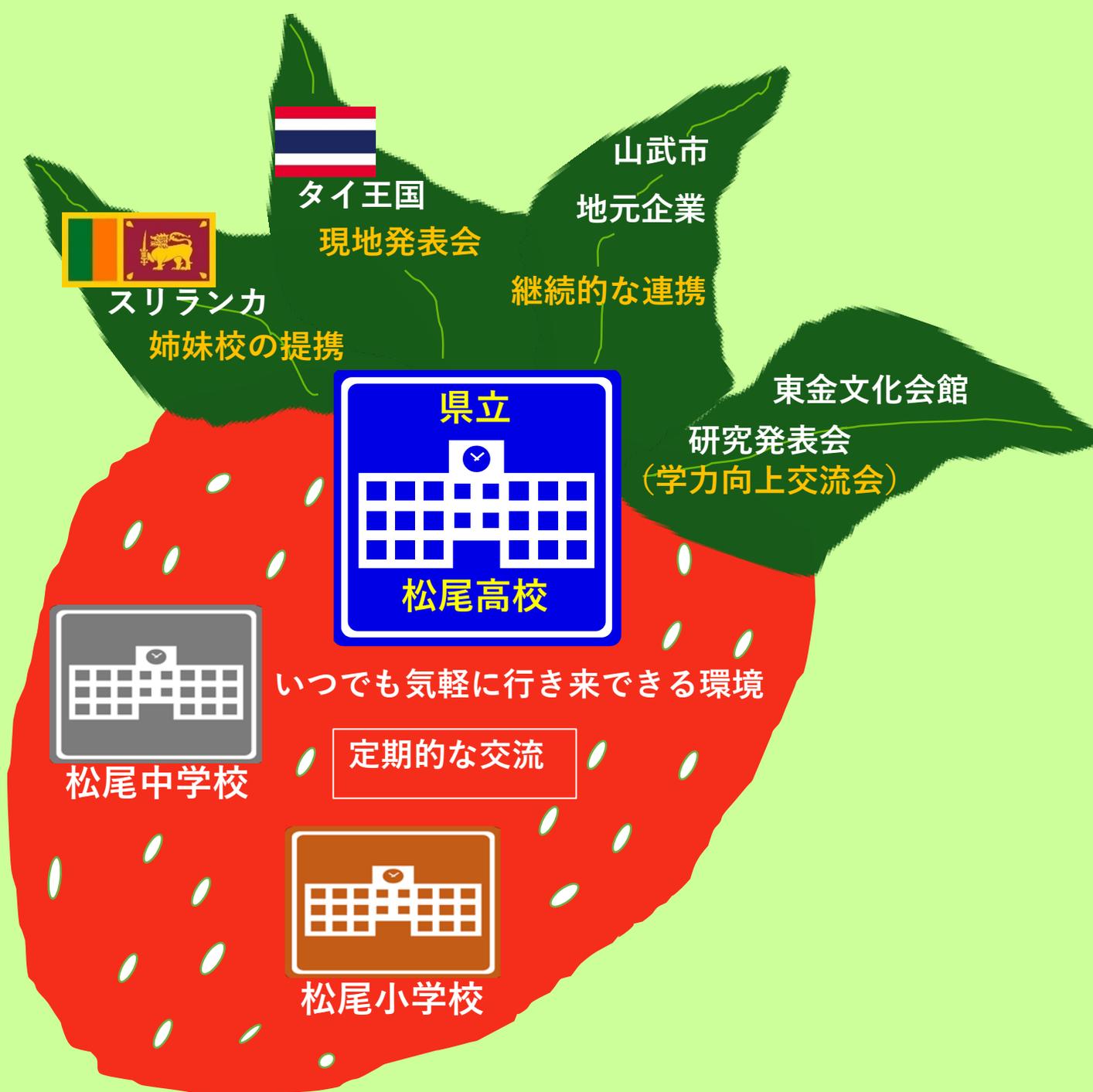
- (1)生徒は、自分が地域に役立っていると実感
- (2)地域は、地元の高校が地域とつながっていると実感
- (3)コミュニケーションに対する苦手意識からの解放

1 地域に根ざすグローバル・リーダー志向

2 自己肯定感の確立

「できない」自分から
「出来る」自分へ

5年間の集大成



普及と継承

学力向上交流会の実施

- ▶ 千葉県教育委員会では、11月を学力向上月間とし、県内すべての公立学校で「授業練磨の公開日」を設定し、校種や経験年数によらず相互の授業参観をすることで授業力の向上を図っています。
- ▶ 高等学校では毎年、先進的・特徴的な取組をしている学校2校を指定し、全ての学校から1名以上を悉皆で参加させ、授業参観や研究協議を行い、県内各地への普及並びに各学校での授業改善を図ることとしています。

松尾高校学力向上交流会 のお知らせ

日時：11月21日（木）13：00～16：45

場所：東金文化会館（JR東金線東金駅）

内容：（1）行政説明

（2）生徒研究発表

ポスターセッション

（3）①記念コンサート（生徒・保護者等）

②参加教員による研究協議会（県内参加校＋全国参加校の教員）

テーマ

「地域発世界行きの人材を育てる探究活動」（仮）

英語教育拠点校

- ▶ 千葉県教育委員会では、地域の英語教育改善のための取組を推進するため、県教育委員会が直接雇用するALTが常駐する「英語教育拠点校」を指定しています。
- ▶ 松尾高校は平成28年度から、この英語教育拠点校に指定されており、1学年4クラスという小規模校ながら、英語のALTが常駐しており、外国語の授業だけでなく、SGH学校設定教科や他の行事等に積極的に関わり、4技能の獲得に効果を発揮しています

グローバル化に関する学び

- ▶ 松尾高校は千葉県教育委員会から、平成28年度に第3期高等学校改編プログラムの一環として、県下で唯一、「グローバル化に関する学び」推進校に指定されました。

S G H 終了後も、

これらの教育財産を引き続き活用するとともに、

これまでの研究成果を、

「総合的な探究の時間」(通称MTOの時間)、新設定科目
「グローバルコミュニケーション」に移植し、

全校をあげて、コミュニケーション能力の育成と探究活動
を通じた「言語活動の充実」及び「課題発見・解決能力の
向上」に一層努めていきます。

MTOの時間

SGH



進路実現



地域フィールドワーク

アクションプラン

プレゼンテーション



地域発世界行き切符

御清聴ありがとうございました。